



ニュースポーツを楽しむ！

第1回キンボール交流大会

1月31日、八雲町総合体育館にて、キンボール交流大会が行われ、16チーム約90人が参加しました。キンボールは、カナダ発祥の屋内スポーツで「キン」は英語の「キネシス(kinesthesia)」の略で「運動感覚」の意味です。直径約1.2mのボールを素手で打ち合い、4人1組の3チームがコート内で、ボールを落とさないようヒット(サーブ)とレシーブを繰り返して得点を競うスポーツです。

第1回目となる今大会では、参加者のほとんどが初めて行うスポーツとなりましたが、お互い連携を取りながらニュースポーツを楽しみました。



未来を担う職人の育成を！

北渡島技能者協会技能フェア『モノづくり体験会』

町内の左官や板金などの技能士でつくる北渡島技能者協会(日比野久会長)は、将来の建設現場を担う職人の育成につなげようと、2月1日に技能研修センターで、技能フェア「モノづくり体験会」を開催しました。

フェアには、町内の小学生12名が参加し、実際のビルなどの基礎に使う鉄筋を針金で固定する作業や、モルタルをてこで平らにする作業、板金を加工したちり取りづくりを体験しました。

参加した小学生は、初めて触る道具や作業に悪戦苦闘しながらも、楽しく学びました。



八雲町冬の祭典、大いに盛り上がる！

第28回八雲さむいべや祭り

2月7・8日、八雲さむいべや祭りが道立公園噴火湾パノラマパークで開かれ、2日間で延べ1万人を超える多くの方々が来場し、八雲町冬の祭典が大いに盛り上がりしました。

7日の前夜祭では、約300個のワックスキャンドルが夜の帳を照らす中、スノームービーやミニコンサートが行われ、8日の本祭では、さむいべや祭りの目玉である100mの氷の滑り台やスノーマービルの白熊号が引くバナナボート、雪中駅伝大会など多くの来場者で賑わいました。

100mの滑り台を楽しんでいる子ども達は「滑り台が長くてとっても楽しい！」と言いながら何度も滑りました。



政策形成能力向上を目指して！

職員研修報告会

町では、若手職員および中堅職員を対象とし、7月より政策形成能力向上を目指した研修が行われ、2月10日、町長以下管理職に対し研修の報告がされました。報告では、若手職員4グループ、中堅職員5グループにより、それぞれのグループで定めたテーマの問題解決に向けた提案がされ「職場環境を改善し、政策課題に取り組む時間を作る」「熊石を元気に！(高齢者が元気に生き生きと働く場の設置を)」などが提案されました。これからの自治体間競争に対応するためには、政策形成能力の向上を図っていくことがますます重要となってきます。